



みどり

平成28年11月30日

12月号

調布市立緑ヶ丘小学校

校長 鈴木 祐介

E-mail

midorigaoka@jcom.home.ne.jp

TEL 03-3308-6166

「ありがとう」がもつ言葉の力

副校長 新藤 直美

12月は人権月間です。学校では、代表委員会を中心とした12月7日の「ストップいじめ集会」へ向けて、各クラスでいじめや意地悪をなくすための標語を考えています。標語を考えていく中で、改めて自分自身の友達に対する言動等について振り返る機会にします。人を大切にすることとはどういうことなのか、どうすれば人の気持ちに気付くことができるのか、自分たちの生活を振り返りながら考えることが第一歩です。そして、考えたことを実践につなげていきます。子供たちが心ない一言や態度で傷付け合うことがないように、私たち大人も注意して見守っていかねばなりません。

「みなさん、リュックサックからタオルを出して班ごとに集合しましょう。」

11月末に1年生は生活科見学で井の頭自然文化園に行きました。最初の活動は、モルモットとのふれ合いです。膝の上に自宅から持って来たタオルを敷き、その上にモルモットを乗せてだっこができるのです。

「あれ？ どうしようタオルが出せないよう。」ある女の子が、先生の集合合図もあって焦りがあつたのでしょうか、リュックサックのチャックが堅くて開けられない様子です。そばにいた私が手伝おうとしたそのとき、同じ班の男の子がやってきて、

「大丈夫だよ。貸してみて…。ほら出せたよ。」

「ありがとう。」

「うん。行こう。」

「本当にありがとうね。」

手伝ってもらった女の子のほっとした、そして嬉しそうな顔。お礼を言われた男の子の笑顔。何とも心温まるワンシーンでした。

先生の集合合図がかかっているのに、ひよっとしたら友達からは「早くして！！」という声がかかってしまう場面だったかもしれません。それも正論でしょう。集合しなくてはならないのですから。でも、集合したくても集合できない女の子の事情からしたら、「早くして！」は心ない一言になってしまいます。タオルは出せない、友達からはせかされる…。悲しい思いをしたことでしょう。案外こういう場面は多いのかもしれない。人を大切にすることは、頭で考えて分かっているのに、実際場面で行動することは難しいものなのです。男の子の行動は、とても自然で、日頃から何気ない思いやりの行動ができる環境にいるのかもしれないと感心して見ていました。

それと同時に私は、女の子が伝えた「ありがとう」の言葉の響きの美しさに改めて感じさせられました。つまり、「ありがとう」の響きがもつ「言葉の力」です。

「ありがとう」という言葉は、言われて悪い気分になる人はいないでしょう。また「ありがとう」の言葉はそれを発した人の心にも響きます。ある研究によると、「ありがとう」の言葉はそれを発した自分自身の脳と自律神経を喜ばせ、発した自分自身にもよい影響を及ぼすのだそうです。そう考えると、その反対に人を罵倒する言葉、例えば「バカ」「シネ」のようなマイナス言葉は、他人を傷つけるだけではなく、その言葉を発した自分自身を傷つけていることになりそうです。

「ありがとう」と言える子供、「ありがとう」と言われる子供。「ありがとう」で溢れる学校・地域・家庭にしていくことも「相手の気持ちを考える」一歩になるのだと思います。

ミドリンミュージアム 特集

きれいになった体育館で、盛大にミドリンミュージアムが開催されました。一人一人の作品がたくさん集まって、とっても大きなミュージアムという作品ができました。

金曜日に各クラスごとに作品を見て回りそれぞれの学年に感想を送りました。土曜日には、5、6年生がギャラリートークを行い、見にいらした方にしっかりと作品のご案内をしました。

1年生



1, 2年生合同



2年生

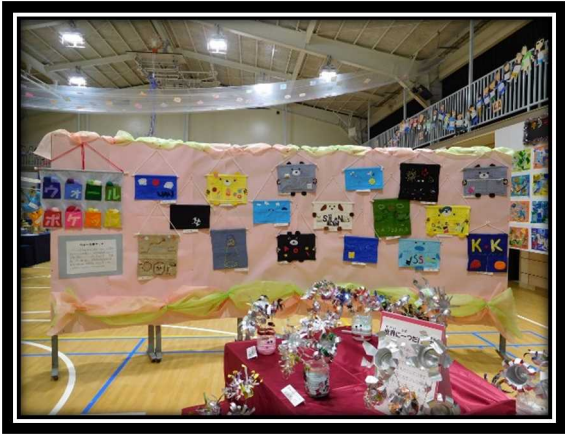


4年生

3年生



5年生



6年生



全校合同作品 つないでつないで



たてわり班ごとに全員が
手をつなぎました！

12月のカレンダー

調布市いのちと心の教育月間

- 1日(木) 調布市人権週間(12/7まで) 保護者会(3, 4年)
- 2日(金) 保護者会(5, 6年)
- 5日(月) 委員会活動
- 6日(火) 保護者会(1, 2年)
脊柱側弯症検診(5年)
さわやかタイム(2, 5年)
ミドリンタイム
- 7日(水) 「人権週間」集会
避難訓練
- 8日(木) 連合音楽会(5年)
- 9日(金) 安全指導
- 12日(月) クラブ活動
- 13日(火) さわやかタイム(3, 4年)
ミドリンタイム
- 14日(水) 「いのちと心の教育」授業公開
5校時
- 16日(金) 社会科見学6年
- 20日(火) さわやかタイム(1, 6年)
ミドリンタイム
- 21日(水) 給食終、大掃除5校時
- 22日(木) 終業式
- 26日(月) 冬季休業日始まり(～1月9日)

調布市では、生命尊重を基盤とした教育活動の充実を図るため、特に12月を「いのちと心の教育月間」と定めて、自他の生命(いのち)を大切にする教育活動を行っています。

本校でも、12月5日(月)の児童朝会では、校長が子供たちに対して「自他の生命(いのち)を大切に作る人間になろう」という講話を行います。また、各クラスでも一人一人の違いを認め合う学級指導を行い、更に14日(水)5校時には「いのちの尊さや一人一人がかけがえのない大切な存在であること」を知ったり学んだりする内容の授業公開を実施いたします。

ぜひ、来校されてご参観いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

3学期始業式についてのお知らせ

1月10日(火) 始業式

持ち物：あゆみ、上履き、連絡帳、
筆記用具、防災頭巾など

1月11日(水)より給食開始となります。



12月の生活目標

『「人権」を大切にしましょう。』

12月10日「世界人権デー」に合わせ、調布市では12月1日から12月7日まで「調布市学校人権週間」として行っています。その取り組みとして、本校では次のことを行うことにしました。

- ・児童の発達段階に応じて各学級で「人権」に関する授業(道徳や学級活動など)を行う。
- ・児童が一人一つずつ標語を考え、クラスで代表の標語を決める。

世界中で「人権尊重」が訴えられ続け、「人権尊重教育の推進」が東京都の教育課題であるとも言われています。それらは裏返すと、人権を尊重されていない人が多いということを証明しているように思われます。「人権」についても同様でしょう。「人権(または人権侵害)」のことを学ぶことにより、自分(たち)がすべきことを考え、行動できる、そんな子供たちを育てたいと考えます。そこで、12月の生活目標を「人権を大切にしましょう」と設定し、「人権標語」の取り組みを行うこととしました。各クラスの子供たちが作成した「人権標語」を12月中旬以降に1階昇降口付近の主事室隣に掲示します。学校にお越しの際はどうぞご覧ください。